●健康教育の総合情報紙●

The EM 教育医事新聞

平成21年・2009年
4/25
月1回25日刊
第296号
半年/4320円 1年/8100円(送料・税込み)
1部 750円(税込み)
昭和63年5月24日
第三種郵便物認可

発行所 ㈱教育医事新聞社
東京都新宿区四谷4-30-23(ビルド吉田8F)〒160-0004
電話(03)3356-6571㈹
FAX(03)3356-6682
郵便振替口座〇〇一六〇一四一九二一四〇
©2009
http://www.the-em.co.jp/
e-mail hensyubu@the-em.co.jp

知的障害者の福祉の向上を目指す月刊誌
知的障害福祉研究 support さぽーと
2009年4月号(No.627)～2010年3月号(No.638)
●毎月15日発行
●A4判 68ページ
●1部 580円(税・送込)
●年間購読料 6,300円(税・送込)
財団法人 日本知的障害者福祉協会
〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6F
TEL 03-3438-0467(出版部) FAX 03-3431-1803

『起立性調節障害の子どもの正しい理解と対応』

怠け者って、呼ばないで――

小中高生に約1割いるといわれ、不登校、うつ、ひきこもりなどとも混同され見究めが難しいのが「起立性調節障害」。この疾患の兆候から診断、治療のプロセス、サポート方法などをわかりやすく解説するのが「起立性調節障害の子どもの正しい理解と対応」(中央法規出版・1,680円)。著者は大阪医科大学小児科学教室准教授・日本小児心身医学会理事長・田中英高氏。理解されないで苦しんでいる子どもたちを一人でも多く救うため、本書の発信する情報を受けとめてほしいという。

著者インタビュー

大阪医科大学小児科学教室
(同大学附属病院 発達小児科科長)
日本小児心身医学会理事長
田中 英高准教授

起立性調節障害は、自律神経の働きが悪くなり、起立時に脳への血流が低下する病気。立ちくらみ、全身倦怠、疲れやすい、頭痛などが症状だが、それは午前中に強く午後には回復してくる。なかなか病気と理解されないため、なぜちゃんとできないのかと親が叱るため親子関係が悪化したり、学校ではいじめにあったりする。適切に治療されないと治らないまま不登校の延長でニートになってしまうケースもある。田中氏はこの疾患の専門医として、かなり重症になってからくる子どもや、直接診療できない子どもの多いことを何とかできないかと悩んできた。

「誤解されやすい疾患」解説
診断・治療、サポート法を詳述

「子どもの発しているサインに早く気づき、適切な対応に結びつけるために、医師をはじめ、保護者、学校関係者に理解を深めてもらうのが先決と考えたのが本書執筆の動機」と話す。

直接、生命の危険にかかわることはないものの、子どもの心身への影響が重大な起立性調節障害について、どういう病気か、どう診断するか、学校はどう支援すればいいかなどを「小児起立性調節障害診断・治療ガイドライン」をふまえ、事例をあげながら詳述している。軽症から重症例までさまざまだが、回復へのキーパーソンは保護者と学校の担任だろうという。

「事例で登場してもらったひろし君とたろう君は、中等症、重症でしたが、本人と保護者が病気の特徴や原因、治療法を十分理解したことで徐々に快方に向かいました。親子関係も悪くならずにすみました」

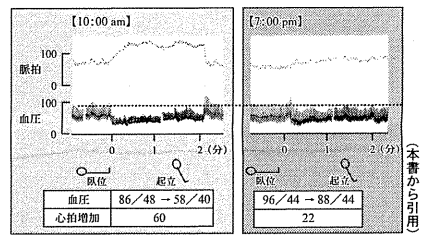
学校との連携により担任の理解が得られたことも大きく、子どもの体調に合わせて家庭訪問してもらったり、友達関係も担任の配慮で良好に保たれたという。

診療にあたる医師、子どもの不調に頭を抱えている保護者、起立性調節障害の知識がないため、子どもへの接し方がわからない学校関係者に価値ある一冊だ。

「私の診ているお子さんの親御さんから〝担任の先生が変わるごとに病気のことを説明するのが負担でしたが、今後はこの本を先生に読んでくださいといいます〟といわれました。そんな使い方をしていただけるとありがたいですね」

日本小児心身医学会では「小児起立性調節障害」「不登校」「神経性無食欲症」「くり返す子どもの痛み」それぞれの診断・治療ガイドラインを『小児心身医学会ガイドライン集―一般小児科医が日常診療に活かす4つのガイドライン』として1冊にまとめ、6月発行予定だ。

起立性調節障害の子どもは朝起きられないのに、夕方は元気なわけ



(本書から引用)

第27回日本小児心身医学会学術集会

〝発達〟の視点の重要性アピール
5学会合同集会の会員にメッセージ発信

会長インタビュー

関西医科大学
小児科学講座
石﨑 優子講師

第27回日本小児心身医学会学術集会が6月6、7日、東京都千代田区の東京国際フォーラムで開催される。本学会は「近未来医療を担う心身医学」をメインテーマとする第1回日本心身医学5学会合同集会の中で行われる。個別テーマは「子どもの心身の発達を支える心身医学」。会長の石﨑優子・関西医科大学小児科学講座講師は「小児心身医学は常に〝発達〟を考慮しながら子どもに接しています。この〝発達〟という視点の重要さを、成人の心身医学の医療者の方々にもアピールしたいと思います」と話す。

独自プログラムはミニシンポジウム「小児慢性疾患のキャリーオーバーから移行期のケアへ」。東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科・丸光惠氏のほか、小児が ん経験者の成人医療への移行を聖路加国際病院小児科・小澤美和氏が、小児気管支喘息におけるキャリーオーバーについて大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科の亀田誠氏が話す。「成人になってからの社会不適応などの問題は、発達段階での何らかの歪みが原因となっておきてきます。発達のどのポイントで何をすべきか考えます」

また学会研修委員会イブニングセミナーは「面白くってためになる 小児心身医学を専門家と語ろう」。発達障害、虐待・PTSD、不登校・起立性調節障害、摂食障害の4テーマについてスモールグループに分かれて参加型ディスカッションを行う。

前日5日には久留米大学医学部小児科学教室の山下裕史朗氏が「ADHD児のQOL改善をめざした包括的治療:チームアプローチ」を講演するほか、学会研修委員会作成の「くり返す子どもの痛みの理解と対応ガイドライン」から小野市民病院小児科の安島英裕氏が「くり返す子どもの頭痛の理解と対応」を講演する。

「子どもの全人的な発達を支援する小児心身医学からのメッセージを5学会の会員に発信できれば」と石﨑会長は話している。

東京堂出版

ハーブ学名語源事典
大槻真一郎・尾崎由紀子著 キャリアオイル、ハーブティーなどに使われる植物の中から二五〇種のハーブ学名の語源を探り、古くから言い伝えられてきた効能や薬用としての利用法など特徴を解説。定価二五二〇円

塩の事典
橋本壽夫著 塩の起源から基本的な塩の事項と塩の歴史、文化、宗教との関わり、健康や料理での利用法まで総合的に解説。定価二六二五円

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17
電話 03-3233-3741 fax 03-3233-3746
http://www.tokyodoshuppan.com〈価格税込〉

赤ちゃんを知りたい
赤ちゃん学 CAFE Vol.2 カフェ

Vol.2 主な目次より
特集1 乳幼児の睡眠
特集2 赤ちゃんと音楽
対談 乳児保育とアタッチメント
連載 赤ちゃん研究者の育児奮戦記②
おもしろ赤ちゃん学講座② 右派?左派?
【発達障害は心の障害ですか?】
運動発達遅滞を主訴に来院した広汎性発達障害
Q1～3 赤ちゃんと育児を科学するクロストークQ&A
他…

●B5判・80頁・年1回刊
●定価1,300円(本体1,239円+税)
●発行日2009年5月10日

編集・発行/日本赤ちゃん学会
E-mail: akachan_gakkai@ibcd.twmu.ac.jp
発売/ひとなる書房
〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス101
TEL 03-3811-1372 FAX 03-3811-1383

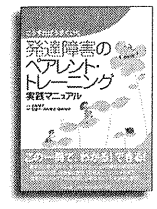
起立性調節障害の子どもの正しい理解と対応
田中英高
(日本小児心身医学会理事長/大阪医科大学小児科学教室准教授)
●四六判・162頁 ●2009年4月発行
●定価1,680円(本体1,600円+税5%) ISBN978-4-8058-4866-1

頭が痛くて朝起きられない。まもいがして立っていられない。しかし、夜になると目がさえて夜更かしをしてしまう――。そのため、親や学校など周囲からは、「寝不足」「怠けている」「気持ちの問題」などと誤解されてしまう疾患、それが「起立性調節障害」です。
本書では、小中高生の約1割いるとみられ、不登校、うつ、ひきこもりなどとも混同されるこの疾患について、その兆候から、診断・治療のプロセス、サポート方法を、子どもに接する方すべてに向けて、わかりやすく解説しています。

早く寝なさい!
頑張りなさい!
病気じゃないんだから!
気持ちの問題だ!
怠けるんじゃない!

保護者や学校の先生が思わず口にしてしまう、これらのフレーズ……
しかし子どもは、自分でもどうしてよいかわからず、苦しんでいるのかもしれません。

こうすればうまくいく
発達障害のペアレント・トレーニング実践マニュアル
上林靖子・監修/北道子・河内美恵・藤井和子・編集
●B5判・194頁 ●2009年4月発行
●定価 2,100円(本体2,000円+税5%)
ISBN978-4-8058-3165-6
ペアレント・トレーニングをこれからはじめる専門職などに向けて、具体的な方法を詳細に解説した実践ガイド。時間配分まで含めたプログラムの具体的な進行方法から、保護者から良く出る質問への対応まで、トレーニングのポイントを分かりやすく説明します。



中央法規出版
http://www.chuohoki.co.jp/
TEL.03-3379-3861 FAX.03-5358-3719
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-4